

宮 若 生 活

Public Relation Magazine **Miyawaka city**

特集

ともに生きる

文化や言葉、育った環境が違っていても、
同じまちで暮らす仲間として、
私たちは日々、さまざまな『違い』と向き合っています。
あなたはその違いをどう受け止め、どのように寄り添っていきますか。



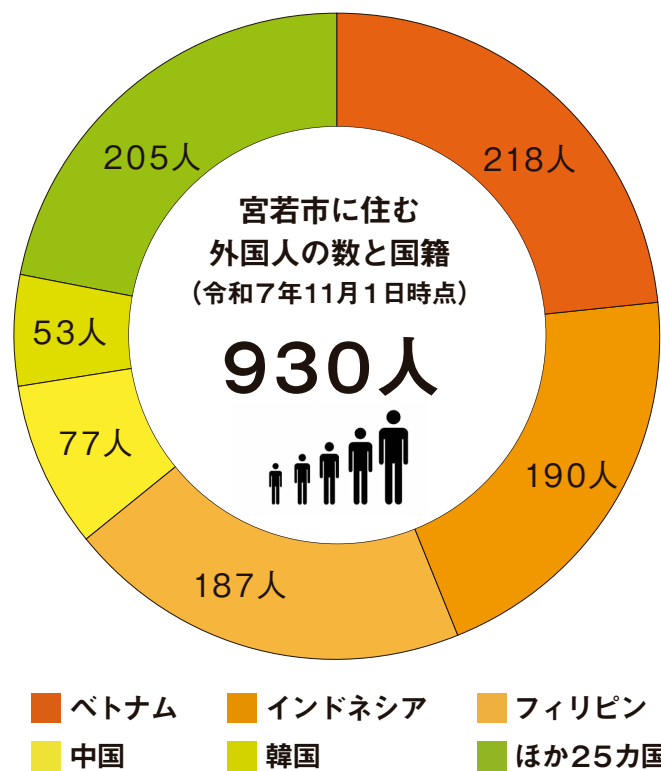
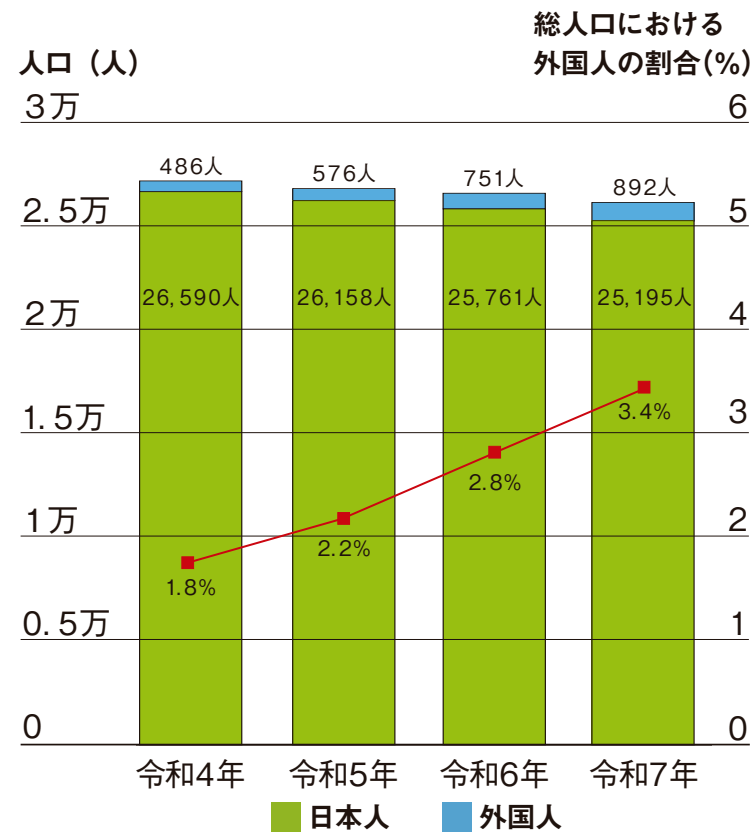
12
2025
NO.239

みやわか日本語教室の様子

- 宮若 Data -

宮若市の人口、外国人の人数と割合

※ 各年、1月1日時点の数値です。



特集

ともに生きる

私たちはこれから先、外国人とどう向き合っていくべきなのか

近頃、SNS上では外国人排除を訴える声が広がり、各地で反対運動やヘイトスピーチが行われるなど、地域社会に不安を生む事態が起こっています。遠いどこかの出来事のように見えて、私たちの日常とも無関係ではありません。自転車で通勤する外国人の姿を見かけたとき、「外国人、増えたな」「最近よく見るな」と、感じる人は多いのではないのでしょうか。特集『ともに生きる』では、このまちでどんな変化が起きているのか。私たちは何ができるのか。12月からの人権週間と合わせて、皆さんと考えていきます。



● ともに暮らす

外国人住民が増えている宮若市。文化や言葉の違いに戸惑う人もいるなか、娘の結婚をきっかけに外国人を家族として迎えた有吉幸一さん。共に暮らす未来へ向け、地域社会が外国人にどう寄り添っていくのか。そのヒントが、この家族の物語にありました。

ありよし こういち
有吉 幸一さん



ありよし こういち
有吉 幸一

千石地区在住。76歳。趣味は洋楽を聴くこと。好きな言葉は『ご縁に感謝』。

変化した外国人への認識と地域への参加

「娘が外国の人（オルソン）と結婚すると聞いたときは少し驚きましたが、反対の気持ちは全くありませんでした。私自身、若い時から洋楽を聞いていたこともあり、海外に対する偏見がなかったせいなのかもしれません。初めてオルソンと会ったときの第一印象は、『身長が高くてでかいな』くらいのものでしたよ。

実際に彼と接する中で、文化や考え方の違いを感じることはもちろんありますが、逆に『思っていたよりも同じだな』と感ずることも多々あります。彼は箸をちゃんと使いますし、日本のことを理解しようという姿勢が目に見えます。私自身、昔から海

外に憧れていたこともあり、こうやって直接関われたのは良い経験になっています。

娘夫婦が宮若で生活していく中で、周囲の人々の中には、最初は心の中で『怖い』といった感情があったかもしれませんが。しかし、オルソン自身が積極的に色んなイベントやまちづくりに関わっているため、変な目で見える人はもういないと思います。

以前、娘とオルソンの二人でまちづくり委員会に参加もしていたんですよ。そういうところを見ると、本当にこの宮若が大好きなんだということが伝わってきます。地域活動に外国の人が加わることは、普段関わりがない人たちにとって、お互いを知る機会になっていると思いますし、いい刺激にもなっていると思いますよ。」

共存するまちへお互いを知ることの大切さ

「宮若でも外国人が増える中で、彼らがまちづくりに携わろうとしているのなら、私たちからでもできるかぎりの支援や協力が必要だと思います。そうすることで、お互いにとって、よりよいまちになると思います。

『外国人は少し怖い』『接し方が分からない』と感じる人に、私の経験から言えるのは、海外の文化に触れてみることです。そうすることで、外国というものを身近に感じるようになり、偏見がなくなっていくと思うんですよ。本当は直接しゃべるのが一番ですが、それが難しい人は、文化

に触れる。それだけでも十分です。

最近よく聞く外国人差別に対して私が言いたいのは、ただ生まれた場所が違うだけで、私たちは同じ人間、そして同じ宮若市民だということ。外国の人からしたら私たちも外国人ですし、『外国人だからこう』みたいな決めつけは絶対してはいけません。これからの社会は、本当に共存が不可欠です。文化の違いはあれど、お互いのことを知り尊重する。最初からダメと決めつけてはいけません。思いやりをもって接することが大切です。私たちが住むこの宮若が、『誰もが安心して暮らすことができる』そんなまちになっていけば、私も本当にうれしいですね。」



オルソンさん家族との写真。笑いながらもどこか恥ずかしそうに寄り添う姿に、家族として歩んできた時間と、互いを思いやる絆がにじみます。

宮若の未来をともに考える

まちづくり委員会



まちづくり委員会とは、非常勤特別職の公務員として、2年間の任期の中で、市の現状や課題を整理し、宮若市をより良いまちにするために、調査研究を行う組織です。

過去には高齢者の見守り事業に、郵便局や新聞販売店などの事業所が協力する必要を提案し、実現しました。ほかにも、目にとまりやすい特産品の開発を目的に、パッケージデザインを刷新し、福岡市内でテスト販売を行いました。

写真は、まちづくり委員会に参加したオルソンさんです。



ともに学ぶ

カーン タイムール
KAHN TIMOORさん

私たちが見慣れたまちも、外から来た人にはまったく違う表情を見せます。日本に来て三年目のカーンさんは、このまちの良さや温かさを身をもって実感していました。彼の語りから、宮若の魅力、そして共生への一歩を探ります。



スポーツが大好きなカーンさん。昼休みに、ニコニコ楽しそうに友だちとサッカーをしていました。

宮若で見つけた大切なもの

パキスタンから宮若へ。異国のまちでの三年間は、カーンさんにとって、驚きや発見、たくさんのお出合いに満ちていました。そんな彼が、宮若で感じたことをゆつくり話してくれました。

「宮若に来てまず驚いたのは、『まちのきれいさ』でした。僕がいたパキスタンのイスラマバードには、ごみの分別という習慣がありません。でも宮若ではルールがしっかりしていて、初めて来た時は、『なんてきれいな場所なんだ』って思いましたね。

『きれいさ』以外にも気づいたことがあります。それは、みんなが優しいということです。学校に行ったその日から、クラスメートや先生が優しく話しかけてくれました。日本語が分からない僕に、ゆつくり説明してくれたり、身ぶり手ぶりで伝えてくれたりして、本当に助けられました。

宮若東中学校で過ごした三年間には、忘れられない思い出がたくさんあります。修学旅行で見た金閣寺は、写真とはまるで違う迫力で、すぐ

カーン タイムール KAHN TIMOOR

宮若東中学校3年生。パキスタンのイスラマバード出身。3年前に宮若に移り住む。当時、中学3年生の年齢であったが、日本語を勉強するため、中学1年生に編入し、勉強に励む。好きな日本語は『ありがとうございます』。

きれいでした。合唱コンクールでは、クラスのみんなと練習して、金賞を取ることができました。友だちと過ごした日々は、僕にとって大切な宝物です。こうした経験の中で、『もっと日本語を勉強したい』『もっと友だちと話したい』という気持ちが大きくなり、中学卒業後は高校に進学したいと思うようになりました。今は、高校受験に向けて勉強に励んでいます。そして、将来は車や機械のことも学びたいですね。父が車に関わる仕事をしているの、いつか手伝えるようになりたいんです。

みんなと仲良くなるために

「みんなと仲良くなるには、お互いが怖がらずに一歩近づくことが大事

だと思っています。最初は『ちょっと怖いな』『話しかけづらいな』と思うこともあるかもしれませんが、でも、実際に話してみると、『あれ？全然怖くない』ってなることがありますよね。少し近づいてみると、相手の表情や声の感じが分かって、心の中の不安が少しずつ消えていきます。怖がっているだけでは、話しかけることすらできません。話さないと仲良くなれないし、お互いに『怖いまま』なんです。少しだけ勇気を出して話すこと、遊ぶこと、学ぶこと。そんな小さな積み重ねが、自然と心の距離を縮めてくれるんだと思います。実際に僕が勇気を出して話しかけたことで、仲良くなれた人もいます。踏み出した一歩が小さくても、思っている以上に大きくなつたりするはずです」。

みんなが安心して暮らせるまちに

人権問題地域懇談会



10月23日から11月18日にかけて、市内5カ所で人権問題地域懇談会を行いました。

講師は、日本語教室やこども食堂を運営するNPO法人育ちと学びの応援団の赤星映子さん。『みんなが安心して暮らせるまちに』と題して、講演が行われました。

講演では、日本語教室の役割や目的、どういった人が学びに来ているかなどを赤星さんが説明。その後、日本語教室で学ぶみなさんの声として、カーンさんらが登壇し、宮若の良いところ、好きなところなどを日本語で発表しました。

教えて、〇〇先生

市内の小中学校で働くALT

ALT（外国語指導助手）とは、英語を母国語とする人が日本の小中学校などで英語の授業をサポートする職業のことです。

市内小中学校には、5人のALTがいますが、今回はその中から3人の先生に、文化や言葉が違う人同士が仲良くなる方法を伺いました。



オーストラリア出身のマイケル先生。「仲良くなるにはまず相手のことを知る。食べ物の好き嫌い、おすすめの漫画など。そうすると自然に話が広がり、いつの間にか仲良くなる」と話します。



フランス出身のメディ先生。「コミュニケーションは一つじゃない。言葉が通じなくても大丈夫です。スポーツなどを一緒にするだけで、その人とのコミュニケーションになる」と話します。



フィリピン出身のロウエナ先生。「スーパードで、すれ違う時にあいさつするだけでもいいんです。声をかけられて嫌な人はいない。一歩踏み出して話をすれば、もうお友達です」と話します。

●ともにも働く



高齢化が進む宮若では、介護現場を支える外国人技能実習生の存在が大きくなっています。受け入れる側の職員の思いと、実習生が語る本音を通して、文化を超えて支え合う職場づくりの今に迫ります。

人手不足の課題を乗り越えて 支え合う職場づくりへ

「当施設が外国人技能実習生の受け入れを始めたきっかけは、人手不足が続く中で、これからの国際社会を見据えた判断でした。現在は四名の実習生が働いています。受け入れにあたり、まず職員には『外国から来るのだから優しく接してあげてほしい』と周知しました。知らない土地で働くことへの不安を考え、言葉の壁や文化の違いにも配慮したサポートを意識しています。初期研修では携帯電話の翻訳機能を使い、職員が丁寧に指導しました。

実は、実習生を受け入れたことで、職員の意外な一面を知ることができた

んです。休日に実習生を遊びに連れて行ったり、ご飯を食べに行ったりと、普段見えなかった優しさや面倒見の良さが引き出されていて、受け入れて良かったなと思います。利用者の反応は、最初こそ厳しい目で見られていましたが、実習生が真面目に働く姿を見て自然と打ち解け、今ではとても仲良く過ごしていますね。

ともに働く上で最大の課題は、言語です。介護記録をパソコンで入力する際、読めない漢字がでてくると業務が止まってしまいます。しかし、それで諦めるのではなく、毎日勉強をしていて、読める漢字も少しずつ増えてきているんですよ。

そして、一緒に働くことで、職場の絆が深まったエピソードもあって、忙

外国人実習生が語る本音

「私は、人の役に立ちたい、そして人とふれあう、心温まる仕事をしたいと思っていたので、介護の分野を選びました。日本の介護は技術が進んでいるので、将来、母国に戻ってから役立つ、高い専門性を身につけたいという強い思いもありました。

日本に来た当初は、福岡市の大橋にある技能実習生研修センターに一カ月間通っていたので、初めて宮若に来た時、率直に『田舎だ』って思いましたね。でも、それは悪い意味ではなくて、実際に生活を始めたら、自然がとても豊かで、空気がすごくおいしいなと感じました。

日本の介護施設で働くことについて

しい時期に残業が続く私たちを見て、実習生たちから『手伝いますよ。私たちも残業しますよ』と、言ってくれたんですよ。お互いに支え合うようになったきっかけだと思いますね。

こうした職場での関わりに加え、施設行事で着物を着たり、三味線や和太鼓を楽しんだり、日本文化を身近に感じられる機会を通して、実習生が地域に溶け込めるように支援もしています。

外国人材は、当施設だけでなく宮若の介護業界全体にとっても欠かせない存在です。人手が足りなければ、事業規模を縮小せざるを得ず、入所者の受け入れにも影響が出ます。介護保険制度を支えていくためにも、実習生の力は本当に必要なのです」。

ては、やっぱり文化が違うから、いろいろと難しさを感じることがあります。例えば、ごみの分別方法なんかは複雑で難しく、最初は戸惑うこともありましたね。

でも、仕事の中では楽しい瞬間もたくさんありますよ。人と関わる仕事なので、利用者の方から日本語を学んだりできるのはとても魅力的です。利用者さんが昔の話や、日本の文化について話してくれて、会話している時間は本当に楽しいです。

宮若での生活は充実していて楽しいけど、一つだけ困っているのは、スーパーが遠いことです。バス停も遠いので、買い物などのちょっとした移動の手段が限られるのが少し不便ですね。

休日は、買い物をしたり、勉強し

介護老人保健施設 なびき苑

いりえ だいきち
介護主任 入江 大吉

宮若市出身。44歳。なびき苑に勤務して25年を迎える。好きな言葉は『まるい心』。

たりもしますが、一番楽しいのは、職員さんと一緒にお出かけすることです。この前は、ちよつと珍しいカエル料理を食べに連れて行ってもらいましたよ。あとは、春に犬鳴川河川公園に桜を見に行ったり、花火大会に行ったり、どれも本当に美しく、つい写真をもっと撮ってしまいます。日本の四季や行事に触れることができて、とても良い経験になっています。

実習期間が終わった後は、やっぱり、日本で学んだことを生かして介護の仕事に就きたいという夢を持っています。それから、実習期間が終わるまでに、宮若の色んなところにも行ってみたいし、日本語をもっと勉強して、皆さんとたくさん話せるようになります」。

介護老人保健施設 なびき苑

ドー ト ウ イ チ ャ ン
DO THUY TRANG

ベトナムのタイビン出身。23歳。なびき苑で技能実習生として働いて1年7カ月を迎える。好きな日本語は『がんばります!』。



ここが私の好きな場所

追い出し猫のモニュメント



チャンさんと同じく、なびき苑で技能実習生として働いて1年10カ月を迎えるカオ・ティ・ニユンさん。好きな日本の食べ物は納豆だという、日本食が大好きな彼女に、宮若のおすすめスポットを聞くと、「バス停の近くにある猫の像がおすすめです。

かわいいし、きれいですよ」と、福丸にある追い出し猫のモニュメントを紹介してくれました。



ともに支える

言葉の壁を越えて人と人がつながる場所、みやわか日本語教室。その立ち上げを担った赤星さんは、なぜこの教室を始めたのか、そして彼女が大切にしてきた思いとは。日本語教室の誕生の背景と、そこから描く未来を見ていきます。

外国人と地域をつなぐ
日本語教室のはじまり

「私が日本語教室を始めようと思ったきっかけはいくつかあります。私は学習指導員をしているのですが、ある年、光陵小学校にパキスタンから一人の女の子が転入してきました。転入した当初は、日本語が全く分からない状態で、こちらもウルドゥー語（パキスタンの公用語）は分からず、英語で反応を確かめながらのスタートでした。でも、学校で生活するうちに、その子は少しずつ日本語を覚えて話せるようになったんです。

一方で、その子の親は日本語を学ぶ機会がありませんでした。そのことに気づいたとき、成人向けの学びの場も必要だな、と強く感じました。

ちょうどその頃、宮若でも外国人を見かけることが増え、学校でもさまざまな国籍の子どもたちを受け入れていました。そこで、大人も子どもも、みんなが学べる場所を作ろうと思いい、日本語教室を立ち上げることにしたんです。

立ち上げにあたっては、会場の確保や補助金の活用など、行政とのやり取りも必要でした。参加者を集めるために、道行く外国人に声をかけたこともありましたね。市役所や企業の協力もあって、なんとか最初の参加者が集まり、日本語教室を開くことができました。

日本語を教える支援ボランティアは、知り合いや教員仲間などを誘うなど、とにかくいろんな人に声かけをしていましたね。

言葉の壁を越えて
地域とつながる

「日本語教室では、一人ひとりのレベルやニーズに合わせ、日本語能力試験に向けた教材やひらがなカード、日常生活の動作を描いた絵カードなどを用いて、できるだけ丁寧に進めています。基本は一对一の学習ですが、ボランティアが複数人の学習者を担当する場合には、経験豊富な人が対応するなどの工夫をしています。

そして、日本語教室で私が一番大切にしているのは、『対等な関係』であることです。上下の関係になつてしまうと、どうしてもうまくいかなことが多くいんですよ。学習者とボ

ランティアが対等につながっていられると、お互い安心できるし、困ったことも『困った』と言いやすくなるんです。外国人の中には、いろいろな悩みを抱えている人もいますから、そうした話も安心してできる場所でありたいと思っています。教室を通して、学ぶ人も教える人も、互いに豊かになったらいいなと思っています。

もちろん、最初は言葉が分からず緊張して表情が固くなる人も多くです。でも『今日で二回目だね』『元気？』と声をかけるだけでも、ふっと笑顔になる。そんな小さなやり取りを重ねながら、言葉の壁を越えて人と人がつながっていくんです。中には、ボランティアと一緒に温泉や山登りに行く

暮らす・働く・学ぶ・支える

みやわか日本語教室



日本語教室では、宮若に住む外国人を対象に、日本語指導や生活の困りごと支援などを行っています。地域や職場などで外国人と関わりのある人は、ぜひこの教室をご紹介します。

また、日本語を教える支援ボランティアも募集しています。お気軽にご参加ください。

- 実施日 毎月第2土曜日、第4日曜日
- 実施時間 ▷第2土曜日=午後1時30分から3時まで▷第4日曜日=午前10時から11時30分まで
- ところ 中央公民館2階 学習室
- 問い合わせ 育ちと学びの応援団☎090・7813・4727（赤星）

学習者もいて、ここからまた新しい関係が生まれているんだと思うと、本当にうれしいですね。

日本語教室の中だけでとどまるのではなく、学習者とボランティア、そして地域の人たちのつながりも広がっていきたく考えています。異なる文化や価値観を持つ人同士が理解し合い、尊重し合える関係が生まれるといいなと思っています。教室と一緒に学ぶだけでなく、地域のイベントなどに参加することで、『自分の居場所はある』と感じられるようになればうれしいですね。

毎月第二土曜日、第四日曜日に日本語教室を開催していますが、教室を訪れる人たちは本当に真面目で、休みの日なのにわざわざ来て勉強しているんです。ニュースやSNSで伝えられる外国人のイメージと、実際に教室で向かい合って話す印象は全然違うんですよ。『みんな一生懸命学んで、日本でよりよく生きたいと頑張ってるんだ』って、感じてもらえると思います。日本語教室の取り組みは、地域と外国人をつなぐ小さな一歩です。その一歩で、見える世界は少しずつ変わっていきます。

宮若には、『地域の人と仲良くしたい』と思っているけど、関わる機会がない』そう思っている外国人もいるはず。みなさんが一歩踏み出すことで、そういった人も支えられるようになり、ちになつたらしいですね。

あかほし 赤星
えいこ 映子

竹原地区在住。68歳。小学校教師を退職後、NPO法人育ちと学びの応援団を設立。放課後学習などの学習支援や不登校児の支援、日本語教室、こども食堂など多岐にわたる活動を行っている。好きな言葉は『楽しむ』。

あかほし 赤星
えいこ 映子さん



Interview みやわか日本語教室支援ボランティア

なかむら ま ゆ
中村 真夕さん

私はSNSをよく見るので、最初は外国の人が怖いとかマイナスのイメージで、距離を保ちながら関わっていたような気がします。ただ、何回か関わって行くうちに、日本語を教えるのは難しいな、色んな文化があるのはおもしろいとか、一緒に学ぶことの楽しさに気づいてからは、自然と心の距離が近づいたと思います。

ボランティアとして参加する中で、一番印象に残っているのは、私と同じ21歳の女の

子と出会ったことです。故郷から離れた土地で日本語を勉強しながら働き、帰国後の夢まで持っていて、同じ年齢とは思えません。そんな彼女の姿を見て、私も負けずに頑張ろうと思いました。

多文化共生って聞くとどこか遠いような気がしていましたが、日本語教室を通して、互いに文化を教え合うことや、言語について知ろうとすることが、多文化共生への一歩だと気づきました。





ともに動く

宗像市では、子どもから大人まで誰もが安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを進めています。一体どんな取り組みをしているのか、宗像市役所でグローバル人材育成に携わる占部さんに、話を伺いました。

日本語の壁を越えるための基盤づくり

「宗像市でもここ数年、外国人住民が大きく増えています。製造業や物流関係など多様な企業が立地しているため、技能実習生、エンジニア、留学生など、さまざまな立場の人が宗像を生活の拠点として選ぶようになってきました。」

外国人住民に関する課題の多くは、日本語が分からないことをきっかけに生まれるものです。そこで宗像市ではまず、言語の壁を乗り越えるための基礎づくりに着手しました。その一つが『やさしい日本語講座』です。行政職員が難しい専門用語を避け、外国人にも伝わりやすい言葉に言い換えるスキルを身につけることで、窓口

での説明がより理解しやすいものへと変化しています。これにより、日本語に不安を抱える住民でも安心して行政サービスを利用できる土台が整いつつあります。

市立学校でも、外国にルーツをもつ子どもたちのサポートを強化しています。宗像市では、アメリカ出身で日本国籍を取得した大学准教授を講師に迎え、『見た目と国籍は一致しない、見た目で判断してはだめだよ』と伝える、出前授業の活動を行っています。これは、子どもたちへだけではなく、教師への大きなメッセージにもなっています。教師の理解やささいな声かけが、子どもがクラスに馴染めるかどうかを大きく左右するためです。

さらに、長期休暇中の日本語力低下という課題に対応するため、夏



宗像市をのぞいてみよう

やさしい日本語講座、出前授業、イングリッシュ・キャンプ



▲夏休み子ども日本語教室の様子。



▼イングリッシュ・キャンプの様子。



▲出前授業の様子。子どもたちは興味津々で話に耳を傾けていました。

宗像市では、ボランティアによる宿題サポートや日本語学習会を始めさまざまな活動を市民団体、企業、大学などと行政が連携しながら行っています。

市民主体の取り組みが多く、宗像地域国際交流連絡協議会は設立して20年以上も続いています。

うらべしず
占部真珠 アイリーンさん

子どもたちに生きる力を 令和7年度人権講演会



11月21日、若宮コミュニティセンター「ハートフル」で人権講演会を行いました。

講師は、参議院議員の下野六太さん。『AIの時代をしなやかに生きるには～ひきこもり不登校予防について～』と題して、講話を行いました。

中学校教師としてさまざまな子どもたちに接してきた下野さん。強くたくましく生きるには、たくさんの経験を積み自ら考える力を養うこと、小さな成功体験を積み重ねることが重要だと説くとともに、周囲の大人も子どもの見本であることが大切だと話しました。

うらべしず
占部真珠 アイリーン

宗像市教育部教育総務課地域教育連携室グローバル人材育成係長。45歳。宗像市役所入庁12年目。好きな言葉は『凧』。



休みにはボランティアによる宿題サポートや日本語学習会も開催しました。外国人の家庭では、保護者が日本語で宿題を見られないという課題があり、それを補う場として大きな意味があります。冬休みも継続予定で、『子どもが行くなら私も参加してみようかな』と、言ってくれる保護者も出てきています。

地域全体で考える多文化共生

「宗像市には、宗像地域国際交流連

絡協議会という市民団体があり、大学生サークルと協力して、外国人家庭の子どもや保護者の交流会を二カ月に一度開催しています。宗像に転入してきたばかりの家庭にとって、同じ境遇の人と出会える場は大きな安心になります。お月見会、クリスマスリースづくりなど、気軽に楽しめるイベントを学生たちが中心になって運営しており、地域企業の協賛も大きな支えです。行政では難しい柔軟な活動ができるのは、まさに市民団体の強みです。宗像市内には日本

語学校が二つありますが、技能実習生などの単身で暮らす外国人は、こうした学校に通っておらず、地域とつながる機会が限られているという課題もあります。

一方、子どもたちの英語力向上を目的とした『イングリッシュ・キャンプ』も実施しています。これは、一日中英語だけを使って生活するプログラムで、少人数グループで外国人講師と過ごすため、通常の授業よりも約二倍の会話時間を確保できます。英語を使うことへの抵抗感が減り、

自分の考えを英語で話せる力を育み、加速する多文化共生社会に、対応できる力を身につけるのが目的です。

こうした多様な活動は、市民団体、企業、大学などと行政が連携することと実現しています。市民が主体となつて続ける枠組みがあることで、持続可能性が高まります。日本語教育も国際交流も課題は尽きませんが、『まずは子どもから』。その環境を整えば、地域全体の受け皿が確実に強くなる。宗像市の取り組みは、まさにその方向へ着実に進んでいます」。

となりにいるあなたと

11月16日に市内で行われた環境クリーン作戦。そこには、楽しそうにごみを拾う外国人の姿がありました。彼らとともに参加した企業の担当者、大井健さんに、参加のきっかけや外国人社員への思いを伺いました。

「うちの外国人社員が環境クリーン作戦に参加するようになったのは、地域のために何かしたい、という思いが一番大きいですね。職場で『一緒にボランティア行かない?』と声をかけると、みんな嫌な顔をするどころか『行きたい!』と、返事してくれるんです。

ボランティア当日も、とても楽しそうでした。黙々と拾うだけじゃなく、歌いながら作業している子もいたんですよ。すれ違う人にはちゃんと『こんにちは』ってあいさつもして、地域の一員になっている感じがしましたね。仕事でも、彼らは本当に真面目で明るいんです。技能実習の期間が終わると、ほとんどの子が『またここで働きたい』と言って、特定技能で戻ってきてくれるんです。そう言ってもらえるのは、企業としても本当にうれしいですね。

課題があるとすれば、やっぱり言語です。会社の中ではある程度やり取りできますが、病院などに行くとき聞き慣れないことが出てきて、うまく伝わらないこともあります。だからこそ、地域とも連携しながら、行事やお祭りのボランティアにもどんどん参加して、日本語に触れてもらえたらと思います。外国人に対して、悪いイメージを持たれがちですが、実際に関わってみると全然違いますよ。文化の違いでごみの分別が分からなかったり、生活のリズムが違ったりする。ことはありますが、良いことも悪いことも丁寧に伝えれば、必ず理解してくれれます。同じ市民として、温かい目で接してもらえたらうれしいですね。



アルファメタル 事業管理室
おおいたける
総務次長 大井 健



編集を終えて

この特集を通して、みなさんに伝えたかったことは、「共生は小さな一歩から生まれる」ということです。ニュースやSNSでは、外国人排除をあおる声や強い言葉が飛び交い、ときに不安を感じることもあります。しかし、取材で出会った宮若で生きる外国人たちは、そのイメージとは全く違うものでした。

職場で、学校で、近所で。私たちのすぐ隣にいる外国人たちは、不安や戸惑いを抱えながらも、このまちで働き、子どもを育て、私たちと同じように日々を過ごしています。そんな彼ら彼女らの思いは、見た目や言葉だけでは決して伝わりません。「話してみたら外国人への印象が変わった」など、相手を知らうとする小さな行動が、思いがけないつながりを生みます。

共生は、制度や仕組みだけで実現するものではありません。むしろ、私たちが普段の生活の中で重ねる『小さな関わり』こそが、地域が変わる確かな力になります。あいさつをしてみる。困っている人々に声をかけてみる。相手の立場を想像してみる。ほんのわずかなことでも、その一歩が未来の景色を変えていきます。この特集が、そんな一歩を踏み出すきっかけになればうれしく思います。

そして、最後にお届けしたこの言葉、「となりにいるあなたと」。それは、読んでくださったあなたのすぐそばに、同じ空気を吸い、生きる誰かがいるということへの、小さな合図でもあります。

どうか明日、すれ違う誰かとの距離が、ほんの少しだけ近くなりますように。そして、その変化こそが、私たちのまちの未来をつくる一歩になりますように。

(広報担当：端倉)





広報担当がどこにでも取材に行きます！

どこかにあなたの知っている人がいるかもしれない

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

Miyawaka Watching

自分たちにできることを行動へ

▶ 5年生総合学習『守ろう！みやわかの自然』

11月18日、宮若西小学校で『守ろう！みやわかの自然』の発表会が行われました。

校区に生息する野鳥が食べるエサについて調べる活動をし、自分たちにできることを整理し行動に移すことができるようになるのが目的。児童たちはそれぞれ、6つのグループに分かれて調査の成果を発表しました。

発表では、「まずごみ拾いから始める」「啓発ポスターを作る」など、地域の自然を守るために、身近な場所から取り組んでいこうとする子どもたちの姿に、温かな拍手が送られていました。



飛べ飛べ紙ヒコーキ

▶ 折り紙ヒコーキ大会宮若会場予選会

11月22日、光陵小学校体育館で折り紙ヒコーキ大会予選会が開催されました。

県青少年育成市民会議が主催し、自分で折った紙ヒコーキの飛行距離、飛行時間を競うことを通じて、子どもたちの自主性や創意工夫する力を育むことを目的とした体験活動です。

参加した子どもたちは、「どうしたらもっと飛ぶだろう」「がんばれ、もうちょっと飛んで！」と、何度も練習を重ねながら本番に挑戦。練習の成果もあり、飛距離は27メートル、飛行時間は6.94秒の大記録も出て、25人が県大会への進出を決めました。



災害への備えを考え直す機会に

▶ 中ブロック自主防災会防災研修会

11月23日、中央公民館若宮分館で中ブロック自主防災会防災研修会が開催されました。

今年8月9日からの大雨災害を受けて、気象災害から身を守るには日頃どういったことに気をつけるべきか考えようと企画されたもの。福岡管区気象台の気象予報士、岡本博之さんを講師に招いての講話では、近年地球温暖化の影響で大雨の発生回数が増加傾向にあること、災害から身を守るための情報収集の方法などを説明。中ブロックを構成する7自治会の参加者は、真剣に聞き入り、今後の備えについて改めて思いを巡らせました。



思いを込めた音色をつないで

▶ ぴあのといっしょリレーマラソン

11月9日、若宮コミュニティセンター「ハートフル」でぴあのといっしょリレーマラソンを開催しました。

12回目となるこのイベントでは、7歳から大人まで、総勢23組が26曲を披露しました。

演奏前に、一人ひとりのコメントを紹介。「初めて発表会に参加するので緊張しています」「仕事の合間に趣味で演奏しています。人前で演奏するのはこれが初めてです」など、それぞれの思いを胸に演奏が披露されました。演奏者は、無事に演奏を終えると、ほっとした晴れやかな表情を浮かべていました。



私のこだわりの作品ができたよ

▶ 西山有志の会ワークショップ

11月15日、文化財収蔵・展示・交流センター「宮若トレッジ」で西山有志の会ワークショップが開催されました。

旧若宮西小学校のPTA役員OBが、旧小学校施設を使って子どもたちにさまざまな体験をしてもらいたいと毎年開催しているもので、今回が9年目になります。

今年は子どもに人気のレジンキーホルダー作りや、校庭の藤棚のつるや木の実などを使ったリース作りを行い、子どもたちはこだわりの詰まった作品を制作。窯で焼きたてのピザも振る舞われ、秋晴れの穏やかな空の下、笑顔あふれる一日になりました。



我が家の愛とる。

市内にお住まいで、満3歳までの宮若っ子を募集しています。1月生まれで掲載を希望する人は、12月12日迄までに秘書広報係、支所市民窓口係でお申し込みください。電子申請などでの申込方法は市公式ホームページをご確認ください。



おおかわ たくと
大川 匠翔 ちゃん
R 6年12月10日生
(龍徳)

お誕生日おめでとう！生まれてきてくれてありがとう♡これからも沢山笑顔を見せてね！



きくち つきか
菊池 月栞 ちゃん
R 5年12月4日生
(上大隈)

2歳の誕生日おめでとう♡これからもたくさん食べて元気に育ってね☆



しみず ゆずか
清水 柚花 ちゃん
R 4年12月28日生
(金丸)

いつも元気いっぱいゆずちゃん♡いろいろな事に挑戦して大きくなってね☆



すけさだ えま
祐定 咲茉 ちゃん
R 5年12月11日生
(本城)

2歳のお誕生日おめでとう♡お喋りも上手になってこれから成長も楽しみです♡



たいら あお
平 彩煌 ちゃん
R 6年12月17日生
(磯光)

1歳のお誕生日おめでとう♡これからも沢山ご飯を食べてすくすく育ってね♡



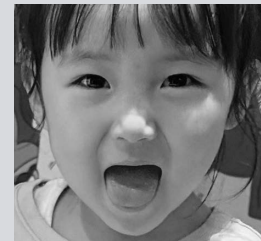
ふなこし つむぎ
舟越 紬希 ちゃん
R 4年12月29日生
(龍徳)

にこにこかわいいつむちゃん3歳おめでとう♡ねえねと仲良く元気に大きくなってね♡



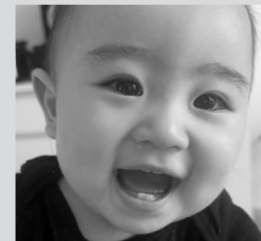
まついし あおい
松石 愛生 ちゃん
R 5年12月17日生
(龍徳)

やんちゃな愛生くん♡2歳の誕生日おめでとう♡そして毎日幸せをくれてありがとう♡



やの かえで
矢野 楓 ちゃん
R 4年11月2日生
(磯光)

おしゃべり大好き、矢野家の永遠の☆プリンス楓☆お誕生日おめでとう♡大好きだよ♡



わき こはく
和佐 来悠玖 ちゃん
R 6年11月11日生
(磯光)

1歳の誕生日おめでとう★これからもすくすく元気に育ってね♡だいすきだよ♡

RS お芋のつるがリースに変身

若宮幼稚園 親子リース作り

「うんとこしょ、どっこいしょ」のかけ声で、収穫も元気いっぱいにがんばりました。



芋のつるを巻いて土台作り。園児たちは、「お母さんこっち持ってね」「だんだんリースの形になってきた」と、親子での体験を楽しみました。リースは飾りつけ後、各家庭に持ち帰られてクリスマスを彩ります。



11月11日、若宮幼稚園で親子リース作りを行いました。園庭で育てたサツマイモの収穫にあわせて、年長組の園児が親子でクリスマスリース作りに挑戦したもので、この日は

RS 私の一票で未来を変える

直鞍地区選挙啓発事業



自治体経営カードゲームでは、「この事業をやめればお金が浮くよ」「この事業はやめられないよ」など、行政の立場になってゲームを進めました。

演劇後は自治体経営カードゲームが行われ、地域課題や予算配分について意見を交わし、実際の行政運営ながらの判断を体験する充実した時間となりました。

11月15日、マリーホール宮田で直鞍地区選挙啓発事業が開催されました。若者世代を中心に選挙への関心を高めるために始まった本事業。今回は、劇団宮若レインボーカンパニーによる選挙啓発演劇が行われ、参加者たちは真剣に見入っていました。

RS レモンの香り広がる一日

里山レモン収穫祭

ティラノサウルスレースでは、元気いっぱい走る子どもたちの姿に、見ている人からは笑みがこぼれていました。



来場者からは、「また来たい」「袋いっぱいレモン詰めた」との声も聞こえ、会場は大盛り上がりでした。

11月22日、西鞍の丘総合運動公園で里山レモン収穫祭が行われました。八百人以上が来場した本イベントには、博多高校の生徒がボランティアとして参加。レモン無料詰め



ご連絡お待ちしています

コミュニティ活動を広めたいという人でこのコーナーへ記事を掲載したい人は、秘書広報係（☎32・0512）までご連絡ください。

市内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがリーダーズスタイル（あなたの生活）です。

RS ステージと展示で魅せる文化の祭典

宮若市文化祭



市内の保育園や幼稚園の園児たちは、練習した歌や踊りを元気に披露してくれました。

11月1日、2日、マリーホール宮田、宮田文化センター、中央公民館若宮分館の市内三カ所で、宮若市文化祭を行いました。合唱や踊り、楽器演奏などからなるステージの部と、書道や絵画、生け花などによる展示の部で構成され、会場は終日にぎわいを見せました。今年も、例年とは異なり、少年の主張も同時開催としたことで、子どもから大人まで多様な世代が一堂に会し、それぞれの表現や思いに触れる貴重な機会となりました。

また、1日に行われた開会式では、児童・生徒絵画コンクールと、宮若市図書館を使った調べる学習コンクールの受賞者を表彰。独自の視点で制作された作品は展示会場にも並び、来場者を引きつけました。



絵画コンクール受賞者（敬称略、左から）＝榎井虹香、舟越結斗、土井さらり、学習コンクール受賞者（敬称略、右から）＝元重橙集、内村僚、岸野佳歩



市内中学校の吹奏楽部や、市民で構成された音楽グループなどの演奏も披露され、来場者たちは迫力ある演奏に耳を傾けていました。



【令和8年3月31日まで】
帯状疱疹ワクチンの定期接種を実施しています

帯状疱疹^{ほうしん}とは、ウイルスが原因で起こる皮膚の病気です。体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって帯状に生じます。



帯状疱疹の原因は水ぼうそうと同じウイルスで、日本人の成人90%以上の体内に潜んでいます。加齢や疲労、ストレスで免疫機能が下がると、ウイルスが活性化して帯状疱疹を発症することがあります。

対象者には、通知書を4月に送付しています。

●対象

- ▶65歳になる人＝昭和35年4月2日～昭和36年4月1日生
- ▶70歳になる人＝昭和30年4月2日～昭和31年4月1日生
- ▶75歳になる人＝昭和25年4月2日～昭和26年4月1日生
- ▶80歳になる人＝昭和20年4月2日～昭和21年4月1日生
- ▶85歳になる人＝昭和15年4月2日～昭和16年4月1日生

- ▶90歳になる人＝昭和10年4月2日～昭和11年4月1日生
- ▶95歳になる人＝昭和5年4月2日～昭和6年4月1日生
- ▶100歳になる人＝大正14年4月2日～大正15年4月1日
- ▶100歳以上の人（大正14年4月2日以前に生まれた人）
- ▶60歳以上65歳未満の人で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害で日常生活がほとんど不可能な程度の障がい^{（免疫機能の障がい}で障がい者手帳1級相当）

●接種期限 令和8年3月31日^{（先着順）}

●使用ワクチン いずれかを選択できます

ワクチンの種類	接種回数	自己負担金（1回分）
組換えワクチン	2回	6,500円
生ワクチン	1回	2,500円

●問い合わせ 健康対策係 ☎32・1177



【お口の健康気になりませんか】
歯科（歯周疾患）健診を実施しています

歯の病気は静かに進行し、自覚症状を感じた時点で受診すると、すでに抜歯が必要な状態となっている可能性があります。また、お口の健康は全身の健康や感染症とも強い関わりがあると言われています。

セルフケアも大切ですが、定期的に歯科健診を受けることで、病気を早期発見することができ、治療回数・治療費の負担の低減にもつながります。この機会に、歯科（歯周疾患）健診を受け、お口の状態を確認しましょう。

※ 受診時は、対象者に送付しているはがきと本人確認書類が必要になります。はがきの再発行については、お問い合わせください。

●対象者 令和8年3月31日^{（先着順）}までに、20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳になる人

●健診内容 歯と歯ぐきのチェック、お口の相談

●料金 600円（生活保護受給世帯は無料）

※ 健診のみの料金であり、治療費などは自己負担となります。

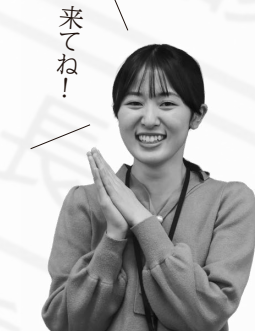
●受診方法 指定の医療機関に直接ご予約ください

●受診期限 12月31日^{（先着順）}

●問い合わせ 健康対策係 ☎32・1177

指定医療機関（一部抜粋）	
医療機関名	問い合わせ
青木歯科医院	☎32・0662
上鶴歯科医院	☎52・0176
鴨川歯科医院	☎32・0553
うえだ歯科医院	☎33・3025
佐野歯科医院	☎32・0458
塩川歯科医院	☎33・1580
ともなが歯科医院	☎32・1055
橋本歯科医院	☎32・1175
長谷川淳歯科医院	☎32・2700
宮若ひぐち歯科	☎28・7234
やまもと歯科クリニック	☎32・1184
吉成歯科医院	☎52・3333

健診会場であなただを待っています



1月19日は
年明け最初の総合健診

早く見つかったよかった、何もなくてよかった

健診

健診が大切だと分かっている人も、「なぜ必要なのか」を意識している人は少ないかもしれません。糖尿病や高血圧、がんなどは初期に自覚症状がほとんどなく、気づいたときには進行していることもあります。

早期発見・早期対応のためにも、年に一度の健診を受けることが大切です。この機会にぜひ受診ください。

●とき 令和8年1月19日^{（先着順）}、午前8時30分から

●ところ マリーホール宮田

●予約方法 市公式LINE電子申請、申込用紙の投函^{（先着順）}または窓口

※ 申込用紙は、市公式ホームページからダウンロードできます。

●予約締切 12月12日^{（先着順）}

●問い合わせ 健康対策係 ☎32・1177

市公式LINEでの予約

- ① 市公式LINEを友だち追加。
- ② トーク画面のリッチメニューから電子申請「健康・福祉」を選択。
- ③ 令和7年度集団健診の「申請へ進む」を押す。
- ④ 申請説明ページの内容を確認し、「申請へすすむ」を押す。
- ⑤ 希望健診日などを選択し、「確認」を押す。
- ⑥ 申請内容を確認し、「この内容で申請する」を押す。
- ⑦ 市公式LINEからメッセージが届いたら、予約完了。



市公式LINE
2次元コード

健診項目一覧

健診項目	対象者（令和8年3月末時点の年齢）	検診内容	費用
基本健診	18歳から39歳までの人	身体測定、尿検査、血圧測定、血液検査、診察	500円
	40歳以上の生活保護受給者		無料
特定健診	40歳から74歳までの宮若市国民健康保険加入者	身体測定、尿検査、血圧測定、血液検査、心電図検査、診察	無料
後期高齢者健康診査	75歳以上の後期高齢者医療被保険者	身体測定、尿検査、血圧測定、血液検査、心電図検査、診察	500円
肝炎ウイルス検査	40歳以上（過去に受診したことがない人）	血液検査	700円
胃がん検診	18歳以上	胃エックス線検査	500円
大腸がん検診		便潜血反応検査	300円
肺がん検診		胸部エックス線検査	100円
胃がん検診＋胃がんリスク検査	40歳・45歳（1人1回限り）	胃がん検診に加え、血液検査で胃がんのリスクを判定	1,500円
前立腺がん検診	50歳以上の男性	血液検査	300円
子宮がん検診	18歳以上の女性	頸部細胞診検査 ^{（はいぶ）}	400円
乳がん検診（マンモグラフィ）	40歳以上の女性	乳房エックス線検査	400円

01 大人の第一歩を自覚する一日
令和8年はたちのつどい

20歳の皆さんで構成する実行委員会で運営しています。式典の後は恩師からのビデオレターや抽選会など楽しいイベントも行われます。

●とき 令和8年1月11日(日)、午後1時受付、2時開式

●ところ 宮田文化センター

●対象 平成17年4月2日から平成18年4月1日に生まれた人

※ 市内に住民票がある20歳の人に、12月3日(日)に案内状を発送します。17日(日)までに案内状が届かない場合は、お問い合わせください。

※ 市外に住民票がある人で、式典に出席する人は、お早めにご連絡ください。

●問い合わせ 社会教育・文化推進係 ☎32・3210



02 健康で明るく、充実した生活を送ろう
いきいきスポーツクラブ

健康づくり、生きがいづくりのために各種スポーツ教室を開催しています。お気軽にお問い合わせください。

●開催教室 ▶スポーツ吹矢 ▶親子バドミントン ▶金曜バドミントン ▶健康ヨガ ▶ウォーキング ▶子ども体操 ▶若さを保つ運動 ▶はじめてのピラティス ▶コアパワーヨガリラックスクラス ▶コアパワーヨガ美Bodyクラス ▶ゆったり整えるヨガ

●問い合わせ対応可能時間 ▶月曜日、火曜日＝午後0時30分から9時まで ▶水曜日＝午前9時から午後9時まで ▶木曜日、金曜日、土曜日＝午前9時から午後5時まで ▶日曜日＝午前9時から正午まで

※ 電話のほか、公式LINEへのお問い合わせも可能です。

●問い合わせ いきいきスポーツクラブ事務局 ☎080・8430・5560 (レッスン中は電話に出られない場合あり)



公式LINE QRコード



Lifelong Study Scope
生涯学習スコープ



03 親子で参加してみませんか
すこやか食育教室

すこやか食育教室は、親子でいっしょに料理を作りながら、幼児期からの食生活を学ぶ教室です。幼い頃から食に接することで、食に対する興味が深まり、食べ物大切さを実感するいい機会になります。

この機会にぜひ、お子さんと一緒にご参加ください。

※ 弟妹の託児も実施しています。希望者は、予約時にお申し込みください。

●とき 令和8年1月14日(日)、午前10時から午後1時まで

●ところ 保健センターパレット

●対象 3歳から就学前までの幼児とその保護者

●定員 10組程度 (先着順)

●申込締切 令和8年1月7日(日)

●申込み・問い合わせ 母子保健係 ☎32・0570



04 宮若トレッジの企画展
「ふるさとの民話をたずねて」展

文化財収蔵・展示・交流センター「宮若トレッジ」で民話をテーマにした企画展を開催します。筑豊は石炭産業のイメージが強い地域ですが、元々は農業を基本とした自然とのつながりが強い地域です。

人々が語り継いできた民話には、昔話のほかに地域に伝わる伝説やとんち話、炭鉱を題材にしたむかし語りなどさまざまなものがあります。

この機会に、興味深い民話の世界にふれてみませんか。

●展示期間 12月23日(日)から令和8年3月31日(日)まで

●開館時間 午前9時から午後5時まで

●休館日 月曜日、年末年始

●内容 ▶筑豊と宮若の民話のパネル展示 ▶民話の書籍・資料類の展示 ▶民話に関連した模型・資料類の展示

●問い合わせ 社会教育・文化推進係 ☎32・3210



「誰もが大切にされる社会とは」

小さな思いやりを大切に
誰かを大切にできる人になりたい



宮若東中学校 臼井 まあり

みんなに届け
私の思い

ー 青少年健全育成事業「少年の主張大会」ー

11月2日、宮田文化センターで少年の主張大会が行われました。今年は初の試みとして、宮若市文化祭の中で開催。鞍手竜徳高校3年生の吉田月多さんと小幡泰士さんが司会を務めました。

優秀賞を受賞した各小中学校の六人の児童・生徒が、それぞれの思いを言葉にして、時に身ぶり手ぶりを交えながら発表。未来を担う子どもたちの言葉に、会場からは惜しめない拍手が送られました。

「未来の子どもたちのために」

世界の貧困状態を多くの人が知って
社会全体で人々を支えることが大切



宮若西中学校 上田 芽希

「今、大切にしている言葉」

ぼくの「ありがとう」がだれかの心を温かくできたならうれしい



宮田南小学校 土橋 颯真

「宮若市のすてきなところ」

引っ越してきて良かった自然や人とのあたたかいつながりを感じていきたい



宮若西小学校 守田 朔希

「大人に言いたいこと」

相談できる場所があり努力を認めてもらえることで子どもはもっとがんばろうと思える



宮田北小学校 関岡 悠有

「努力は必ず実る」

「自分に自信をもって」ダンスの先生の言葉を大切に自信につながる結果を得られた



光陵小学校 北岡 結菜

光陵グリーンスタジアム・西鞍の丘芝生フィールド 主な大会予定 (天候の影響などにより中止になる場合あり)

光陵グリーンスタジアム
(☎33・1515)

スコアボード改修工事期間

西鞍の丘芝生フィールド
(☎54・0207)

12月6日(日) 九州ジュニアサッカー県大会 (U-11)

12月21日(日) 宮若市サッカー教室 (市主催、ギラヴァンツ北九州協力)

※ 大会によっては、近隣へ応援やアナウンスなどが聞こえてくる場合があります。ご理解をお願いします。



2026新春本の福袋



お正月といえば福袋！図書館でも本の福袋を用意しました。
福袋には図書司書おすすめの本が3冊ずつ入っています。どんな本が入っているかは、開けてみてのお楽しみ。
大人向け、中高生向け、子ども向けを準備しています。



年末限定！ 貸出期間を3週間に延長

図書館は、12月29日頃から令和8年1月3日頃まで休館します。
そこで、通常2週間の貸出期間が、3週間といつもより長くなります。ぜひご利用ください。

- 貸出期間
令和8年1月4日頃から（なくなり次第終了）
- 準備数
35袋（リコリス本館30袋、ハートフル分館5袋）

- 貸出延長期間
12月16日頃から28日頃まで
【例】12月16日頃に借りた場合、令和8年1月6日頃までに返却

Information

- おはなし会 ※小学生まで参加できます。ぜひご参加ください。

12月6日 田 リコリス本館 午後2時から ボランティア山口読書会が担当

12月11日 田 リコリス本館 午前10時30分から おひざでだっこ（要予約）

12月20日 田 リコリス本館 午後2時から 図書司書が担当

- 朝のおながく図書館 ♪ ピアノの音色を聴いて、素敵な一日を始めませんか ♪

12月12日 田、16日 田、25日 田、 午前9時50分から10時10分まで

- 休館日 12月1日 田、8日 田、15日 田、22日 田、25日 田、

29日 田から令和8年1月3日 田まで

※ 年末年始の休館期間中、返却は返却ポストをご利用ください。CD・DVDなど返却ポストを利用できない資料もあります。詳細は図書館ホームページをご確認ください。また、12月、1月は図書館の延長窓口を一部（第1、第3木曜日）お休みします。



本好きなあなたがおすすめの1冊を
紹介するコーナーです。

第138回

私の1冊

- ▶おすすめする人 ふじた まなか
藤田 真榎さん（3歳）、桜歌さん（1歳）

「おはなしも好きだけど、絵の中に隠れてるブタ鼻探しも面白んだよ」と『バスタブバスです』を紹介してくれたのは、真榎さん。妹の桜歌さんのおすすめは『ぱびおぺぱーず』。ポーズをしながら楽しく読めるのが、お気に入りだそう。
0歳から図書館に通っているという二人。興味をもったことや、お出かけして楽しかったことに関係がある本を読んでいるよ。今年は、家族で行った東京ディズニーリゾートが一番の思い出だそう。これからもたくさん本の本に出会ってね！



英語でおはなし会

英語と日本語で絵本を読んで楽しめます。英語に興味があるみなさん、お気軽にお越しください。

- とき 令和8年1月17日 田、午前11時から
- ところ 生涯学習センター「宮若リコリス」
- 対象 5歳から小学4年生まで
- 定員 10人（事前申込制、先着順）
- 申込方法 図書館窓口または電話
- 申込開始 12月16日 田、午前10時から
- 申込み・問い合わせ リコリス本館 ☎32・0710、ハートフル分館 ☎52・1041

注目の蔵書情報

「障がいのある人となない人が、ともに生きる社会をめざして」
今月は障がい者週間（12月3日から9日まで）にあわせて
図書司書セレクトの本をお届けします。

- 一、生きづらい社会を変えるには
『マンガで考える 障害者と社会の壁』
著・漫画▼三島亜紀子
出版▼生活書院
- 二、みんなとちがうって
だめなこと？
『かつくん』
文▼クリスチャン・メルベユ
出版▼講談社
- 三、マイノリティの静かな叫びが
胸を打つミステリー
『デフ・ヴォイス』
著者▼丸山正樹
出版▼文藝春秋
- 四、だれもが「本を読む」
社会へ
『読書バリアフリー（全三巻）』
監修▼白坂洋一
出版▼汐文社



障害者に関する法律は整備されてきましたが、障害のある人は今も、モヤモヤとした差別を経験することがあります。そんな差別のあるあるから生まれた本です。
みんなまんまるのかたちをした家族。ところがある日おかあさんから、しかくの赤ちゃん「かつくん」が生まれました。みんなまんまるじゃないといけないの？
耳の聞こえない家族をもつ元警察官が、手話通訳士として法廷に立ち、事件に向かっています。手話を通して「声にならない声」を伝えることの意味を考えさせてくれる本です。
さまざまな理由で本を読むことが難しい人のために、読みやすく工夫された本や道具があります。そんな本や道具について、分かりやすく紹介しています。

みやわか
M for More. Info

令和8年度入札参加資格審査申請書の受付が始まります

入札参加資格審査申請書の受付開始

● 問い合わせ

契約検査係 ☎ 32・0761

申請手続きの内容	
受付期間	令和8年1月5日(木)から2月2日(木)まで (土曜、日曜、祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで)
受付の種類	建設業法で規定する建設工事 測量・コンサルタント、物品・役務
申請用紙	● 宮若市指定様式 ▶「[建設工事]・[測量・コンサルタント]」＝様式第3号 ▶「[物品・役務]」＝様式第4号 ▶「[地域貢献活動評価申請書]」＝土木、建築、管、舗装を希望する事業者のみ
用紙交付	12月8日(木)から契約検査係で交付します。 また、市公式ホームページでもダウンロードできます。

※ 市外業者の申請は電子申請で受け付けます。詳細は、市公式ホームページをご確認ください。

令和8年度に宮若市が発注する建設工事などの入札参加資格を得るための、入札参加資格審査申請書(指名願)の受付が始まります。提出書類は必ず最新の提出要領を確認し、添付書類などに漏れがないようにお願いします。

※建設工事は、総合評定値通知書(経営事項審査結果通知書)がない場合は受付ができません。

また、令和7年度と同じように土木、建築、管、舗装、造園、塗装、内装仕上、電気、機械器具設置、解体工事、水道施設工事について「第二希望の業種」までを名簿登録することとなります。ただし、希望できる業種は、経営事項審査を受けている業種に限りま

みやわか
M for More. Info

市有地を一般競争入札で売却します

市有地売却

● 問い合わせ

財産管理係 ☎ 32・0761

売却対象となる市有地					
	住所	地目	地積(m ²)	坪数	最低売却価格
①	福丸143番2	宅地	142.15	約43坪	1,547,000円
②	磯光1827番272	宅地	184.08	約56坪	2,150,000円
③	福丸206番17	宅地	164.53	約50坪	1,869,000円
④	直方市下境3910番436	雑種地	306.00	約93坪	3,280,000円

市内への定住や移住を促進するため、市が所有している土地のうち、今後活用する予定のない未利用の土地を一般競争入札で売却します。

● 申込方法 参加申込書などの必要書類一式をそろえて、財産管理係に提出してください。

● 必要書類 ▼参加申込書

▼誓約書 ▼入札書 ▼保証金等支戻請求書 ▼債権者登録申請書 ▼住民票 ▼滞納がない証明書など

※必要書類は、窓口での配布または、市公式ホームページからダウンロードすることができます。

● 受付期間 12月8日(木)から19日(金)まで(土曜、日曜を除く、午前9時から午後5時まで)

みやわか
M for More. Info

令和8年度に任用する宮若市会計年度任用職員を募集します

会計年度任用職員募集

● 問い合わせ

人事係 ☎ 32・0511

会計年度任用職員とは、一会計年度(4月から翌3月までの間)で任用する非常勤の地方公務員です。

市では、令和8年4月から会計年度任用職員として働く人を募集します。

応募開始時期や申込方法、勤務条件、必要資格などの詳細は、決まり次第市公式ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

会計年度任用職員の任期など

会計年度任用職員は、職務の必要性に応じて任用するため、原則として一つの年度内が任期となり、募集する職種も年度ごとで異なります。

ただし、職務の必要性が継続する場合で予算が確保でき、勤務成績が良好である場合は、翌年度も任用となることがあります。

なお、地方公務員法の適用となるため、正規職員と同様の義務と責任を負うことになります。

給与などの条件

主に募集を行っているパートタイム(常勤職員よりも短時間の勤務)の会計年度任用職員は、月例報酬のほか、通勤距離に応じた通勤手当、期末勤勉手当(ボーナス)などを支給します。

月例報酬の額は、職種や職務経験の有無によって基準が異なりますので、応募前に必ず条件をご確認ください。

募集を行う予定の主な職種・内容 (募集職種は随時更新)

● 一般事務 市役所における一般事務補助(伝票の起票、文書受付、データ入力、来客者接遇、電話応対など)

● 家庭児童相談員・母子父子自立支援員 児童の養育や生活上の悩みに対する相談支援(訪問含む)、児童虐待 事案対応、ひとり親家庭の就労・生活・子育て などに関する相談支援(訪問含む)、サポートプランの作成

みやわか
M for More. Info

年末年始のごみ、し尿の収集日程にご注意ください

年末年始のごみ、し尿収集

● 問い合わせ

環境衛生係 ☎ 32・0516

ごみ、し尿収集事業者連絡先		
収集業者	電話番号	業種
サン・フレッシュサービス	☎32・1176	ごみ・し尿
西鞍手浄化槽管理	☎32・0507	ごみ・し尿
協和環境	☎32・4821	ごみ・し尿
友永清掃	☎080・6417・2141	ごみ
エーアンドシー	☎62・1197	ごみ
クリーンサービス若宮	☎52・3337	ごみ
タケマツ環境	☎52・0903	し尿

年末年始はごみ収集や、し尿収集の日程が変わりますのでご注意ください。

また、年末年始は収集量が増えるため、収集時間帯が変わることがあります。ごみを出す場合は、必ず収集日の朝8時までに、出してください。

固形燃料用ごみ

12月31日(木)から令和8年1月4日(日)まで休みです。1月5日(月)から、収集を再開します。

し尿

12月31日(木)から令和8年1月4日(日)まで休みです。臨時収集の申し込みは、12月19日(金)までに左記の業者へご連絡ください。1月5日(月)から、収集を再開します。

燃えないごみ

「収集日程表」のとおりです。日程表は窓口で配布しています。また、市公式ホームページや市公式LINEからも確認できます。

パブリックコメント	届出保育施設等利用者への補助金	耕作不利農地への補助制度	水道管防寒対策
-----------	-----------------	--------------	---------

みやわか
M for More. Info

届出保育施設等利用者への補助金

● 問い合わせ 保育係 ☎ 32・0517

届出保育施設などの利用者への補助金の申請受付が始まります

● 問い合わせ 保育係 ☎ 32・0517

市では届出保育施設（企業主導型保育施設を含む）の利用者に対し、「多子世帯届出保育施設利用者支援事業」と「企業主導型保育施設利用者支援事業」を行っています。

これは、利用者負担額の一部を補助することで、多様なニーズに応えるとともに、保育サービスの選択肢を増やすことにより、待機児童の解消を図ることを目的に市が実施しています。

申請方法などの詳細は、市公式ホームページでご確認ください。

● 対象施設 届出保育施設（企業主導型保育施設を含む）

● 対象児童 保護者が養育している子のうち、年長者を第一子とし、年長順に数えて第二子以降の三歳未満（年度当初の年齢）のお子さんで、市税などの滞納がない世帯

● 補助額

▼第二子以降Ⅱ利用者負担額（食事代等除く）の全額

届出保育施設とは

保育を行うことを目的とする施設で、都道府県などが認可する認可保育所以外の施設の総称です。事業者が顧客の乳幼児のみを預かるために設置する施設などの一部を除き、設置開設時に都道府県への届出が義務づけられています。

市内では、かさまつ保育園、ばたばた園、ばたばた園2、ぴーす保育園、いきいき保育園、グリーンコープ若宮物流センター託児所などの6園があります。

みやわか
M for More. Info

パブリックコメント

● 問い合わせ 保育係 ☎ 32・0517
ファクス：32・9430
メール：youji@city.miyawaka.lg.jp

【宮若市こども計画にあなたの声を】パブリックコメントを実施します

● 申込み・問い合わせ 農業土木係 ☎ 32・0799

市では、計画を策定する際に、皆さんからのご意見を募集しています。寄せられたご意見などは、案に取り入れることができるかを検討し、市の考え方を結果（最終案）とともに公表しています。市では平成24年から導入しています。

募集の詳細

● 募集締切 12月26日

● 対象

① 市内に住所がある人
② 市内で働く人
③ 市内に通学する人
④ 市内に不動産を有する人
⑤ 市内に事務所、事業所を持つている人や団体
⑥ 対象となる計画などについて利害関係がある個人や法人

● 計画案の公表場所

▽本庁多目的ホール
▽若宮コミュニティセンター「ハートフル」
▽生涯学習センター「宮若リコリス」
▽市公式ホームページ

● 結果の公表 個別回答は行いませんが、個人情報保護した上で、計画案の公表場所で公表します。

宮若市こども計画の詳細

全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができ、社会を目指す「こども大綱」を踏まえ策定する計画です。

令和6年度に策定した、第3期子ども子育て支援事業計画と一体化し、令和8年度から令和11年度までの4年間の計画として策定します。

提出方法

様式に必要な事項を記入の上、提出箱に入れるか、保育係に持参、郵送、ファクス、メールのいずれかの方法でご提出ください。

● 意見書の記入方法 公表場所に設置している様式をご利用ください

※ 次の内容が記入されていれば、任意の様式でも提出できます。

▽意見を提出する計画の名称
▽氏名（団体・事業所の場合は、その名称と代表者の名）
▽区分上記対象の①、⑥
▽住所・所在地
▽電話番号
▽意見の内容
▽年齢・性別（任意）
▽メールアドレス（任意）

※ 意見を記入する際は、計画案の何ページ、何行目かを記入してください。

みやわか
M for More. Info

水道管防寒対策

● 問い合わせ 水道課業務係 ☎ 32・1005

水道管の凍結、破裂を防ぐために寒さ対策をお願いします

● 問い合わせ 水道課業務係 ☎ 32・1005

冬は水道管や水道メーターが凍って水が出なくなったり、破裂したりしやすくなります。

凍結して破損すると、所有者が修理費用を負担しなければなりません。寒さに備え、水道管にも防寒対策を行いましょう。

凍結しやすい水道管の特徴は、屋外でむきだしになっているもの、家の北側にあり太陽があたらない場所にあるもの、風当たりが強い場所にあるものです。

凍結を防ぐには

厚手の布や発泡スチロール系の保温チューブなどを水道管に巻き、その上にビニールテープなどを巻いて保温します。保温チューブはホームセンターなどで販売しています。給湯器などは、各機器の凍結防止マニュアルをご確認ください。

凍結による水道管の破裂だけでなく、老朽化などで水道管から漏水し、気づかず料金が高額になった事例もあります。

漏水かどうかを確認するには、家の蛇口を全部閉めてから水道メーターを見てください。内部にあるパイロットが回転していたら漏水の可能性があります。

水道管が凍ってしまった場合

自然にとけるのを待つか、タオルなどを巻き付けてぬるま湯をゆっくりかけてください。熱湯をかけると水道管が破裂するおそれがあります。

万が一、水道管が破裂した場合は、メーターボックス内の止水栓を閉め、水を止めてください。宅内の水道管は市役所では修理ができませんので、市指定の給水装置工事事業者へ修理を依頼してください。詳しい内容は、水道課にお問い合わせください。

みやわか
M for More. Info

耕作不利農地への補助制度

● 申込み・問い合わせ 農業土木係 ☎ 32・0799

耕作不利農地を改善する事業へ最大30万円の補助を行います【実施前に申請が必要です】

● 申込み・問い合わせ 農業土木係 ☎ 32・0799

市内で耕作することが不利な農地（面積が狭小、湧水による湿田化など）の条件を改善するために、所有者や耕作者が実施する事業へ補助を行います。補助額の上限は三十万円です。

補助の要件など

〔補助を受け区画整理などを行った農地は対象外〕

● 対象となる農地

① 面積が狭小、湧水による湿田化など、耕作を行うことが不利な農地

② 現況が田・畑の農地

③ 事業実施により今後継続的に耕作する農地

④ 同一年度内で、同じ種類の補助事業などを利用しない農地

⑤ 過去に補助事業により区画整理などを行っていない農地

● 対象となる事業

● 事業実施前

▽申請書
▽位置図
▽施工概要も含む
▽写真（耕作が不利な状況のわかる写真・着工前の全景写真）
▽工事費（資材費など）の見積書の写し
▽確約書

● 変更時

▽申請書
▽事業実施前の提出書類のうち変更のあったもの

● 事業実施後

▽申請書
▽位置図
▽施工概要も含む
▽写真（施工状況写真・完成後写真）
▽工事費（資材費など）の領収書の写し
▽市への請求書

※ 他にも追加書類の提出が必要になる場合があります。

必要書類など

● 事業実施前

▽申請書
▽位置図
▽施工概要も含む
▽写真（耕作が不利な状況のわかる写真・着工前の全景写真）
▽工事費（資材費など）の見積書の写し
▽確約書

● 変更時

▽申請書
▽事業実施前の提出書類のうち変更のあったもの

● 事業実施後

▽申請書
▽位置図
▽施工概要も含む
▽写真（施工状況写真・完成後写真）
▽工事費（資材費など）の領収書の写し
▽市への請求書

※ 他にも追加書類の提出が必要になる場合があります。

ふるさと納税	バナー広告の掲載	障害者控除対象者認定書
--------	----------	-------------

みやわか

M for More. Info

宮若市を応援してくれる皆さんへ

ふるさと納税をご紹介します

ふるさと納税

● 問い合わせ 観光推進係 ☎ 32・0519

控除対象額シミュレーション

控除上限額は所得や家族構成によって限度額が異なり、下2次元コード（ふるさとチョイス内）から控除上限額を確認できます。

かんたんシミュレーション

控除上限額シミュレーション

ふるさと納税制度

「ふるさと納税」は、寄付金の2,000円を超える部分が所得税などから控除されます。控除を受けられる額には上限があります。

所得税や住民税の控除が受けられます

税金の控除を受けるには、原則として確定申告を行う必要がありますが、確定申告の不要な給与所得者がふるさと納税を行う場合、確定申告を行わなくてもふるさと納税の寄付金控除を受けられる仕組み「ふるさと納税ワンストップ特例制度」があります。オンライン申請サービスを利用すると、簡単に申請受付が完了します。

お礼の特産品などをお届けします

市外に住所のある人には、お礼として特産品などをお送りします。宮若牛やお米、果物など、宮若で育まれた農産物や、脇田温泉での宿泊など市の魅力に触れる体験をお届けします。一人でも多くの人に宮若市のまちづくりを応援していただけるよう、市外にお住まいの親族や知り合いに、宮若市のふるさと納税を活用した取り組みをご紹介します。

※宮若市に住所がある人には、お礼の品をお送りできません。ご注意ください。

選べる使い道	
使い道	事業の詳細
ひとが輝くふるさとづくりに関する事業	移住定住の促進、保健・福祉の充実、医療の充実、教育・文化の充実、地域コミュニティの充実など
みどりが輝くふるさとづくりに関する事業	自然環境と地域景観の保全、廃棄物処理とリサイクル対策の推進、災害対策、公園の整備、農林業の活性化など
産業が輝くふるさとづくりに関する事業	商工業の振興、企業誘致の推進、立地企業の支援、観光の振興など
市長お任せ（指定事業なし）	第2次宮若市総合計画に掲げた上記のいずれかの事業

お礼の品の一例として、宮若牛や脇田温泉宿泊券などがあり、品数は400種類以上です。

みやわか

M for More. Info

障害者控除対象者認定書で

障害者控除を受けられます

障害者控除対象者認定書

● 問い合わせ 高齢者福祉係 ☎ 32・0515
支所市民窓口係 ☎ 52・1113

身体障害者手帳の交付を受けていない人でも、精神や身体に障がいのある六十五歳以上の人で、「障害者控除対象者認定書」を添付して、所得税や住民税を申告すると、障害者控除（障害者控除または特別障害者控除）を受けることができます。

認定書が必要な場合は、申請をお願いします。

障害者控除の額

● 障害者控除
▼ 所得税 27万円
▼ 住民税 26万円
● 特別障害者控除
▼ 所得税 40万円
▼ 住民税 30万円

認定書交付の基準

● 障害者控除 ▼ 身体障害者の障がいの程度の等級表（三級から六級）と同程度の障がい▽知的障害者の障がいの程度の判定基準（重度以外）と同程度の障がい
● 特別障害者控除 ▼ 身体障害者の障がいの程度の等級表（二級、二級）と同程度の障がい
● 申請場所
▼ 高齢者福祉係
▼ 支所市民窓口係

認定方法

認定基準に該当する人で、介護保険の要介護一から要介護五までの認定を受けている六十五歳以上の人は、介護保険の判定結果本人の同意を得てを基に判定します。

認定基準に該当する人で、介護保険の認定を受けていない六十五歳以上の人は、医師の診断書などを基に判定します。

● 認定書の交付が必要ない人 ▼ 身体障害者手帳、「療育手帳」などの交付を既に受けている人
▽ 認定書による所得税や住民税の障害者控除を受けなくても非課税となる人
▽ 扶養者が非課税となる人

税金の控除を受けるには、原則として確定申告を行う必要がありますが、確定申告の不要な給与所得者がふるさと納税を行う場合、確定申告を行わなくてもふるさと納税の寄付金控除を受けられる仕組み「ふるさと納税ワンストップ特例制度」があります。オンライン申請サービスを利用すると、簡単に申請受付が完了します。

お礼の特産品などをお届けします

市外に住所のある人には、お礼として特産品などをお送りします。宮若牛やお米、果物など、宮若で育まれた農産物や、脇田温泉での宿泊など市の魅力に触れる体験をお届けします。一人でも多くの人に宮若市のまちづくりを応援していただけるよう、市外にお住まいの親族や知り合いに、宮若市のふるさと納税を活用した取り組みをご紹介します。

※宮若市に住所がある人には、お礼の品をお送りできません。ご注意ください。

みやわか

M for More. Info

市公式ホームページに

バナー広告を掲載しませんか

バナー広告の掲載

● 申込み・問い合わせ 秘書広報係 ☎ 32・0512

地域経済の活性化を図る目的で、市公式ホームページに事業者向けの広告枠を作成しています。

毎月数万人が閲覧している市公式ホームページで、会社や事業などをPRしてみませんか。

● 掲載期間 一カ月単位（複数月も可）
※ 最長期間は、申込み年度の年度末（3月31日）まで
● 広告料 一枠月額 八千三百八十円（税込）
● 掲載位置 市が指定した場所
※ 市公式ホームページの下部に掲載しています。広告枠は複数ありますが、位置はランダムに変更となる仕様です。

申込方法

次の書類を秘書広報係へ提出してください。
● 提出書類 ▼ 申込書
▼ 申込書に記載する添付書類（事業の概要がわかる資料やパンフレットなど）
▼ 広告図案を格納した磁気媒体（メールで送付の場合、要事前連絡）

掲載の決定

申込後、広告内容などを宮若市有料広告審査委員会にて審査します。その後、宮若市有料広告掲載決定通知書または宮若市有料広告非掲載決定通知書により掲載の可否を通知します。掲載決定後は、期日までに市が発行する納付書で、広告掲載料を納入してください。

▼ リンク先ホームページのURLと、そのページ内容が分かるもの
※ リンク先のホームページ（トップページなど）を印刷したものを提出ください。
▼ 市税等の滞納がないこととの証明書
● 申込締切 広告を掲載する希望月の前月10日まで

31 2025 年 12 月号

Miyawaka city 30

その他 others information

ベビーマッサージ教室

予約方法などの詳細は、市公式ホームページをご確認ください。

- **とき** 12月12日[㊤]、午前10時から11時まで（7カ月児から12カ月児）、午前11時から正午まで（2カ月児から6カ月児）
- **ところ** 子育て支援センター「さくらんぼ」
- **対象** 市内在住の1歳までのお子さんと保護者
- **定員** 各10組（先着順、要予約）
- **問い合わせ** 子育て支援センター「たんばば」☎32・0885

犬の放し飼いをしないで

犬の放し飼いは、県の条例で禁止されています。放し飼いで、人にケガをさせるなど、万が一のトラブルが起こった場合は、飼い主の責任になります。

愛犬の安全のためにも、飼養場所は脱走のないように気をつけ、散歩の時はリードなどをつけて大切な家族を守りましょう。

また、近隣で犬の放し飼いやなどに困っている人はご相談ください。

- **問い合わせ** 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所☎0948・21・4973、直方警察署☎22・0110

幻想的な光の世界 清水寺竹灯籠

黒丸むらおこしの会を中心に製作された竹灯籠が境内を幻想的にともします。さびやかな光景を見てみませんか。

- **とき** 12月29日[㊤]から令和8年1月2日[㊤]、午後5時から9時まで（12月31日[㊤]のみ午前0時まで）
- **ところ** 清水寺境内（黒丸）
- **問い合わせ** 黒丸むらおこしの会 ☎090・5386・0405（松田）

【転ばない体づくりをしませんか】 ギラヴァンツ北九州 シニア健康教室

高齢者の骨折の大きな要因は、転倒によるものです。転倒を防ぐための運動療法や日常動作などの生活指導を行います。

また、ギラヴァンツ北九州普及部のコーチ陣が、楽しく指導します。

- **とき** 令和8年1月27日[㊤]、2月5日[㊤]、10日[㊤]、18日[㊤]、午前10時から11時30分まで
- **ところ** 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- **対象者** 65歳以上の市民で、全日程参加できる人
- **定員** 40人（定員を超える場合は抽選）
- **持ってくるもの** 飲み物、タオル、運動できる靴
- **申込方法** 電話でお申し込みください
- **申込締切** 12月24日[㊤]
- **申込み・問い合わせ** 高齢者福祉係☎32・0515

第16回ハートトゥハート 第九コンサート



弦楽五重奏とピアノの演奏による市民合唱団の第九公演。近畿大学附属福岡高等学校バトン部による演技やオペラの名曲も楽しめます。

会場ロビーでは地元応援マルシェも開催します。ご来場をお待ちしています。

- **とき** 12月21日[㊤]、午後1時開場、2時開演
- **ところ** ユメニティのおがた大ホール
- **入場料** 1,000円（高校生以下無料）
- **問い合わせ** ハートトゥハート第九コンサート実行委員会☎090・1143・2595（加護）

【令和8年5月25日まで】 フリガナの届出はお済みですか

改正戸籍法などの施行に伴い、6月から8月にかけて、本籍地の市町村からフリガナの確認ハガキが発送されています。ハガキに記載されたフリガナが自身の認識と異なる場合は、忘れずに届け出をお願いします。※ フリガナが間違っていない場合は届出不要です。

- **提出方法** マイナポータル、窓口、郵送
- **届出期限** 令和8年5月25日[㊤]
- **問い合わせ** 国コールセンター ☎0570・05・0310、市民係☎32・3232

火葬場休場日の市外施設利用 に補助金を交付しています

火葬場「桜華苑」の休場日に市外の火葬場を利用した場合に、一定額の補助金を交付しています。

補助の対象や申請方法などの詳細は、お問い合わせください。

※ 休場日は、毎月1日、15日（土曜、日曜、祝日の場合は翌平日、12月は2日[㊤]も休場）です。

- **申請・問い合わせ** 環境対策係☎32・0516

父子・母子家庭のための 就業支援講習会を行います

福祉用具専門相談委員になるための、基礎的な知識や試験対策について学ぶことができます。

- **とき** 令和8年1月17日[㊤]から3月7日[㊤]までの毎週土曜日
- **ところ** ウエルパークヒルズ 研修室（中間市）
- **申込締切** 12月22日[㊤]
- **対象** ひとり親家庭の父母や、かつて母子家庭だった寡婦で、この講座を生かして就職・転職を希望する人
- **申込み・問い合わせ** マンパワーグループ☎092・741・9531

大型車^{うかい}迂回^{うかい}のお願い

12月下旬から、鶴田地区冠水対策工事、今橋・尾勝線道路改良工事を行います。大型車の通行が困難となっていますので、迂回をお願いします。詳細が決まり次第、市公式ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

- **ところ** 鶴田日吉公園付近、尾勝バス停付近
- **問い合わせ** 建設係☎32・0799

広報みやわか1月号は 1月5日から配布します



毎月、皆さんに配布している広報みやわか「宮若生活」。来年1月号の配布日が通常と変わりますのでお知らせします。

通常、月初めの平日4日間をかけて配布しますが、1月号は1月5日[㊤]から配布します。

もし、1月8日[㊤]を過ぎても広報紙がお手元に届かない場合は、秘書広報係にご連絡をお願いします。ご理解のほどよろしくお願いします。

- **問い合わせ** 秘書広報係 ☎32・0512

宮若市長・市議会議員選挙は令和8年3月15日[㊤]に行います

- **問い合わせ** 市選挙管理委員会☎32・0511



和8年3月18日の任期満了に伴い、宮若市選挙管理委員会が宮若市長・宮若市議会議員一般選挙の投票日を令和8年3月15日[㊤]に決定しました。

【宮若市長及び宮若市議会議員一般選挙】

- **選挙告示日** 令和8年3月8日[㊤]
- **投開票日** 令和8年3月15日[㊤]

【立候補予定者説明会】

- **とき** 令和8年1月19日[㊤]、午後2時から
- **ところ** 本庁3階 防災研修室

※ 立候補予定者1人につき2人以内で、候補予定者と代理人の印鑑を持参してご出席ください。

献血にご協力ください



医療技術が進歩した今日でも、血液は人工的に造ることができず、長期保存もできません。県では、一日に約600人分の献血が必要とされています。

- **とき** 12月23日[㊤]、午前9時30分から11時30分まで、午後0時30分から4時まで
- **ところ** マリーホール宮田
- **問い合わせ** 健康対策係☎32・1177

姿勢改善教室を開催します

姿勢改善の意識付けやインナーユニット（体を安定させる筋肉）を活性化させ、スムーズな歩行方法を身につけるための運動を行います。

- **とき** 12月26日[㊤]、午後1時30分から
- **ところ** 若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- **定員** 20人（先着順）
- **対象** 市内在住で20歳以上の人
- **持ち物** 運動できる服装、動きやすい靴、タオル、飲み物
- **申込み・問い合わせ** 支所市民窓口係☎52・1111

1月 保健事業カレンダー

6日[㊤]：4カ月児健診、12カ月児健診
受付は午後1時～

7日[㊤]：すくすく・マタニティー相談（要予約）
受付は午前10時～11時

18日[㊤]～19日[㊤]：総合健診（要予約）
午前8時30分～10時30分
マリーホール宮田

15日[㊤]：1歳6カ月児健診
受付は午後1時～

20日[㊤]：7カ月児健診、12カ月児健診
受付は午後1時～

28日[㊤]：離乳食教室（後期・要予約）
午前10時～正午

総合健診以外の会場は、すべて保健センターパレットです。

にここ運動教室

8日[㊤]、9日[㊤]、29日[㊤]、30日[㊤]
保健センターパレット

午前10時～11時30分
マリーホール宮田

午後1時30分～3時

- **問い合わせ** 健康対策係☎32・1177

妊娠がわかったら早めに母子手帳の交付を受けましょう（要予約）

市公式 LINE で交付予約が必要です。詳細は、市公式ホームページをご覧ください。

- **問い合わせ** 母子保健係☎32・0570

情報確認ダイヤル

防災行政無線
放送内容フリーダイヤル
☎0800・200・9945

火災案内ダイヤル
☎32・3211

納期
tax・premium information

今月の納期【12月】

- 固定資産税 第3期
 - 国民健康保険税 第6期
 - 後期高齢者医療保険料 第6期
 - 納期限 12月25日(金)
 - 口座振替日 12月25日(金)
- 納期限内に納付しない場合は督促状を送します。また、納期限の翌日から、延滞金が発生します。(最初の1カ月は年利2.4%、以降8.7%)
- 問い合わせ 納税管理係 ☎32・1008

12月2日納期限分の納税を忘れていませんか

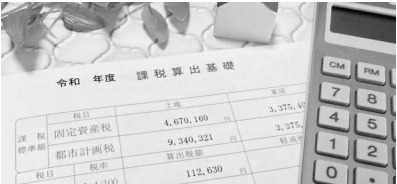


国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の第5期の納期限は12月1日(金)です。納付がない時は、差し押さえなどの滞納処分を行うことになります。

納税額を一度に納付することが困難な時はお早めにご相談ください。

- 問い合わせ 納税管理係 ☎32・1008

償却資産の申告が必要です



お店や農業、不動産賃貸業などの事業を営んでいる人は、その事業のために用いている機械、備品などの事業用資産が固定資産税の対象となりますので、令和8年1月1日時点の資産内容を申告する必要があります。

昨年申告した人へは、12月中旬に昨年の内容を基にした申告書を送付します。初めて申告する人など、申告書が必要な場合はご連絡ください。

- 提出期限 令和8年2月2日(金)
- 問い合わせ 資産税係 ☎32・0513

未登記家屋の届出が必要です

固定資産税の賦課期日は毎年1月1日です。令和7年中に家屋を新築し、法務局での表示登記が完了していない人は、届出をお願いします。

また、令和7年中に家屋を取り壊し、法務局で滅失登記が完了していない人も届出が必要です。正確な課税のためにも忘れずにお手続きをお願いします。

- 問い合わせ 資産税係 ☎32・0513

相談
consult information

行政書士による無料相談会

相続、遺言、国籍・在留資格、消費者問題などの相談に応じます。

- とき 12月28日(金)、午後1時から4時まで
- ところ 生涯学習センター「宮若リコリス」第3研修室
- 問い合わせ アソシエイツ宮若事務局 ☎28・9811

人権週間特設人権相談

法務省では、世界人権宣言が採択された日である、12月10日を人権デーと定め、12月4日から10日までの1週間を人権週間としています。

これに合わせて市内2カ所で、人権擁護委員による特設人権相談会を行います。

いじめや差別、家庭内のもめ事、ご近所トラブルなどで悩んでいる人は、お気軽にご相談ください。申込みは不要です。

- とき 12月3日(金)、午前10時から午後3時まで
- ところ 中央公民館、若宮コミュニティセンター「ハートフル」
- 問い合わせ 直方人権擁護委員協議会 ☎22・1144

試験
examination information

自衛官等採用試験

申込方法などの詳細は、お問い合わせください。

- 募集種目 高等工科学校
- 申込資格 日本国籍を有する15歳から16歳までの人
- 申込締切 令和8年1月15日(金)
- 問い合わせ 自衛隊飯塚地域事務所 ☎0948・22・4847

募集
invite information

職業訓練生を募集しています

定期的にさまざまな専門科の訓練生を募集していますので、「ポリテクセンター福岡」「ポリテクセンター飯塚」のホームページから募集学科や訓練期間などを確認し、お申し込みください。

- 募集学科(2月生) 住環境コーディネート科、CAD/CAMエンジニア科、金属加工技術科、ビル設計サービス科、ICTエンジニア科
- 対象者 ハローワークへ求職申込みをしていて訓練の受講が必要と認められた人
- 申込先 ハローワーク直方
- 問い合わせ ポリテクセンター福岡 ☎093・641・6909、ポリテクセンター飯塚 ☎0948・22・4988

県営住宅入居者募集

- 申込期間 12月4日(金)から12日(金)まで
- 募集団地 県内に所在する県営住宅(詳細は、募集案内書に掲載)
- 案内書配布場所 住宅管理係
- 申込み・問い合わせ 県住宅供給公社直方出張所 ☎24・4590

甲種防火管理者新規講習会の受講生を募集します

- とき 令和8年1月7日(金)から20日(金)まで
- ところ 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部
- 申込期間 12月7日(金)から11日(金)まで
- 申込み・問い合わせ 直方・鞍手広域市町村圏事務組合消防本部 ☎32・1131

消防団員を募集しています

消防団は、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守る重要な役割を担っています。

市内には現在全8分団、351人が所属しています。冬は乾燥しやすく、火災が起きやすい季節です。地域を守るために自分の力を生かしましょう。

- 入団資格 18歳以上で市内に住んでいる人、または勤務している人
- 問い合わせ 防災安全係 ☎32・0511

高齢者居場所づくり事業「あったかサロン」参加者募集

あったかサロンでは、65歳以上の一人暮らしの高齢者などを対象に日常動作の訓練や生きがい活動を行います。月2回まで参加できます。

- とき 平日、午前10時から午後3時まで
- ところ ▷中・山口・若宮・吉川の各地区＝中央公民館若宮分館 ▷日吉地区＝旧若宮南小学校 ▷笠松地区＝笠松研修センター(なびきホール) ▷宮田地区(東部・西部・中部の各地区)＝社会福祉センター
- 内容 介護予防教室、作品制作、演劇鑑賞、バスハイクなど
- 参加費 1回100円(送迎あり)
- 問い合わせ 市社会福祉協議会 ☎090・2044・0335(田之上)

NUMBER
INFORMATION

● 10月31日が基準日

事故・犯罪

市内交通事故	件数	1月からの累計
物件事故	101 件	824 件
人身事故	91 人	744 人
窃盗犯罪内容	件数	1月からの累計
車上ねらい	0 件	0 件
部品ねらい	0 件	5 件
乗り物盗	1 件	7 件
自販機ねらい	0 件	0 件
空き巣など	0 件	6 件

火災

火災種類	件数	1月からの累計
建物火災	1 件	12 件
その他火災	0 件	2 件
死者	0 人	1 人

ごみ

種類	重さ
ごみの量	632,170 キロ
資源回収量	5,998 キロ
1人当たりごみ排出日量	796 グラム
※ ごみ減量目標は総合計画に掲げたもので1人が1日に出すごみの量を780グラム以内にしようとするものです。	

人の動き

※ 住民基本台帳法の改正により、外国人登録者数を含む人口情報となっています。

人口	3 人	減りました	25,618 人
男性	1 人	減りました	12,428 人
女性	2 人	減りました	13,190 人
世帯数	21 世帯	増えました	13,255 世帯
～14歳	10.9%		2,787 人
15歳～64歳	52.8%		13,519 人
65歳～	36.3%		9,312 人
出生	7 人	転入	87 人
死亡	32 人	転出	65 人

不動産公売会を行います

税金の滞納を解消するため、差し押さえた不動産の公売会を行います。

- とき 12月9日(金)
- ところ 本庁1階 多目的ホール
- 公売物件

① 宮若市上大隈字玄ノ久保428番地1外9筆＝495.92平方メートル(受付は午前9時から)

② 宮若市上大隈字長楽寺684番地86外2筆＝379.13平方メートル(受付は午前10時から)



③ 宮若市福丸字錦228番地1外1筆＝145.2平方メートル(受付は午前11時から)

※ 宮若市小伏字井下田原164番地5、164番地5外2筆の公売は中止となりました。

- 最低落札価格

①1,010,000円、②2,300,000円、③700,000円

- 公売保証額

①101,000円、②230,000円、③70,000円

- 入札に必要なもの

▷ 公売保証金(現金に限る) ▷ 暴力団などに該当しない旨の陳述書 ▷ 印鑑、委任状、身分証など



インタビュー
第一回直鞍一周駅伝大会 走者

小田 左右馬さん

復興への一歩

令和8年1月25日、八十回目の節目を迎える直鞍一周駅伝競走大会が、長い歴史に幕を閉じる。終戦直後の昭和二十一年、復興への願いを込めて始まったこの大会は、地域の絆を育んできた象徴でもある。今回は、第一回大会に出場した小田左右馬さんに、創設期の思い出や大会への思いを聞いた。八十年間の歩みを振り返りながら、走ることが地域にもたらした希望と、次の世代へ伝えたい願いに迫る。

おだ そうま
小田 左右馬

湯原地区在住。101歳。若宮町の町議会議員や農業委員などを務めた。第一回直鞍一周駅伝大会の走者。

地域が一つになり、復興への一歩を踏み出した

昭和20年の終戦直後、地域は不安に包まれていた。それでも人々は、前へ進む一歩を求めている。敗戦の爪痕が深く残るなか、地域社会を立て直すには何が必要なのか。その問いに答えようと、直方市と鞍手郡のスポーツ関係者が集まり「スポーツの力で人々を元気づけよう」と立ち上がった。こうして直方体育協会が結成され、その記念事業として昭和21年に第一回直鞍一周駅伝競走大会が開催されることとなる。物資も整わず道路状況も決して良いとは言えないにも関わらず、十五チームの選手たちがスタートラインに立った。直方市役

所を発着点に小竹、宮田、福丸へと続くコースは、起伏が多く、選手にとって厳しい道のりであった。しかし、力強く懸命に走る選手の姿を目の当たりにし、沿道に立つ人の表情には久しぶりの明るさが戻っていた。この第一回大会で走者として参加したのが、小田左右馬さんだ。「直方の選手が速かった。本当に追い付かなかった」と笑う一方で、沿道の声援を受けた瞬間の記憶は今も鮮明だ。「地域が一つになり、復興への一歩を踏み出した」と感じたその時、ただの競走ではない『地域の団結の象徴』としての駅伝の意味が生まれていた。

一歩、また一歩と走り続けてきた80年

第80回 直鞍一周駅伝競走大会

この80回大会で幕を閉じるようになった直鞍一周駅伝競走大会。地域の復興、青少年の育成を願い、一歩一歩と、多くのランナーたちがタスキをつないできました。

最後の直鞍一周駅伝競走大会をみんなで見ませんか。コースなどの詳細は、1月広報でお知らせをします。

- とき 令和8年1月25日(日)、午前10時スタート(雨天決行)
- 発着点 鞍手町中央公民館前



あの時の思いが、こんなに 長く受け継がれるなんて

第一回大会を走った 青年の記憶

「スポーツが地域を元気にする」。小田さんは、当時この考えが多くの人に共有されていたと語る。大会当日、沿道に並んだ人々は、まだ豊かさとは程遠い生活のなかでも、笑顔で選手を励まし、声を張り上げて応援した。小田さんはその光景を振り返り、「沿道の応援を受けたとき、地域が復興へ向けて確かな一歩を踏み出したことを肌で感じたんです」と、言葉をしみじみと紡ぐ。

また、第一回大会のあとには、「来年は私たちも参加したい」「次も走りたい」という声が地域のあちこちから上がったという。走ることを通じて地域が一つになったという手応えが、多くの人の心に火をつけたのだ。小田さんは「大会を見た人が、次は自分もと声を上げてくれたのが嬉しかった」と振り返る。その反応は、戦後の重い空気の中に芽生えた新しい活気の

象徴でもあり、小さな火種が広がるように、励まし合いや刺激が地域全体へ伝わっていった。その広がり、伝統へと変わり現代まで引き継がれていくことになる。

終わりが示すものと 次の世代へのメッセージ

直鞍一周駅伝競走大会は、創設後、時代の変化に合わせて姿を変えながら続いた。昭和23年には高校の部が、昭和30年には中学生の部が設けられ、多世代にわたる大会へと発展していった。道路事情や地域の構造も変わり、コースは何度か調整されたものの、駅伝が地域に根差した存在であることは変わらなかった。

平成18年の宮田町・若宮町の合併により主催体制は再編され、二市一郡三町での輪番制が続いた。多くの地域行事が縮小される時代にありながら、この大会は八十回という節目まで続き、地域の冬の風物詩として親しまれ

てきた。

だが、今回の八十回大会をもって長い歴史に幕を閉じることとなる。少子化により参加者が減少し、運営面の負担も大きくなったことが背景にある。しかし小田さんは、終わりを嘆くだけではなかった。

「寂しいですよ。でも、八十年も続いたんだと思うとうれしい気持ちもあるんです。あの時の思いが、こんなに長く受け継がれたんですから」。

走ることを通じて学んだことを、次の世代に伝えるなら。そう問われると、小田さんは、「体を動かすことは良いことだと思った。体が元気だと心も元気になります。私が証拠ですよ」と、笑った。自身が長寿で元気に過ごしている

のも、若いころから体を動かしてきたおかげだという。

この駅伝は終わるが、八十年の歴史のなかで育まれた『地域をつなぐ心』は、今後も受け継がれていくだろう。沿道に立って声援を送る人々の姿、寒空の下で懸命に走る選手の姿。そのどれもが地域の記憶として残り、未来を支える力となるはずだ。

小田さんが第一回大会を走ったあの日から、時代は大きく変わった。それでも、人と人を結びつけ、地域を元気にする『駅伝のもつ力』は少しも変わっていない。八十年の軌跡は、戦後の復興とともに地域が歩んできた道そのものであり、これからの世代を照らす灯火でもある。



直鞍一周駅伝競走大会で使われてきたタスキ。
これまでの参加者の思いが染みこんでいる。

第75回大会まで使われた優勝旗。ずっしりと重く、
今までの歴史を感じられる。

戦後80年、私たちは何を学ぶべきか

兵士・庶民の戦争資料館

小竹町にある 兵士・庶民の戦争資料館は、戦争の現実と日常を伝える私設博物館です。

展示資料は約3,000点、鉄帽・軍服・銃や防毒マスク、従軍絵日記、寄せ書き、追悼文集などが並び、庶民や兵士双方の視点から戦中の暮らしが浮かび上がります。展示物は来館者が実際に手に取って触れられるものばかりで、実際にモノに触れることで、より実感をもって戦争に思いをはせてほしいとの思いが込められています。疎開児童への家族の手紙など、民間の視点からの記録も大切に保管・展示されており、来館者に『戦争を二度と

繰り返さない』思いを静かに問いかける場となっています。

- 開館時間 午後1時30分から5時まで（要予約）
- ところ 小竹町御徳415番地7
- 予約・問い合わせ 兵士・庶民の戦争資料館 ☎62・8565



この記憶を、あなたへ

広報みやわか「宮若生活」令和7年8月号

戦後80年を迎える今、私たちは戦争の記憶をどのように未来へつないでいけばよいのでしょうか。

本号の特別企画では、市内在住の野見山正さんに、戦争の記憶を語っていただきました。

正さんが当時11歳の時に見送った父親・大作さんは、陸軍輸送船「馬来（マレー）丸」に乗船していました。しかしこの船は後に魚雷攻撃により沈没。約1,500人の命が失われるという悲劇に見舞われました。「風化させてはいけない」との強い思いが込められた、重く、そして大切な記憶の証言をぜひお読みください。

下記2次元コードを読み込むと、記事を読むことができます。



市制20周年記念事業



宮若商工会議所青年部主催

第19回宮若冬ほたる
イルミネーション祭り

生涯学習センター
「宮若リコリス」周辺



冬の風物詩、イルミネーション。今年は、市制施行20周年を記念した特別なイルミネーションがまちを彩っています。生涯学習センター「宮若リコリス」、若宮コミュニティセンター「ハートフル」で行われた点灯式は、楽器の演奏や飲食物の出店など盛大に行われ、訪れた多くの人たちが点灯の瞬間を見守りました。

イルミネーションは、令和8年2月11日まで楽しむことができます。

若宮コミュニティセンター
「ハートフル」周辺

11. 14 Fri 若宮商工会主催
冬のイルミネーションパーティ



2025.12

NO.239



広報「みやわか」

本庁 ☎ 823-0011 宮若市宮田 29 番地 1
支所 ☎ 822-0101 宮若市福丸 272 番地 1

編集 秘書政策課秘書広報係 印刷 (株) センソンプリントックス
☎ 0949・32・0510 (代表) <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>

